

ランニング便りNO3

2011年ランニング便り-館石-

5月 15日 箱根駅伝復路100キロ下見走、横浜みなとみらい>東京ディズニーランド:40キロ

9時10分、横浜みなとみらいの高島中央公園を出発、メンバーは約30人。青物横丁、レインボーブリッジ、お台場、舞浜駅を經由して東京ディズニーランド(躍動の門)ゴールの40キロ。チェックポイントが記された地図を渡され、オリエンテーションのようなマラソンだ。走り始めはキロ6分(時速10キロ)。ランナーが着ている青地のランニングシャツに「東日本大震災支援 1キロ10円募金運動」を発見。2週間前の富士五湖チャレンジの話しになり、「1キロ10円ランニング募金で10人のスポンサーが付いたので1キロ100円で走っているランナーが居ました」(ランナー)「あ、それ私です」(館石)、「あの時のランナーですね、偶然ですね」(ランナー)。まさか富士五湖チャレンジで「1キロ100円」のメッセージから会話を交わしたランナーとまた会えるなんて。並走しながら改めて自己紹介、永島さんとは7月の「奥武蔵77キロ」でもご一緒できるとのこと。こんな出会いと予期しない再会は本当にうれしい。

さてコースに戻ろう。幕末に起きた生麦事件の生麦を通過、JRの駅で「国道」という奇妙な駅に出くわす。箱根大学駅伝の鶴見中継所で休憩、「明日へ走る」襷渡しの銅像あり。途中でランニング中の他の集団とハイタッチ。比較的若い人達が多い集団で、マイスターというクラブらしい。川崎を抜け多摩川に架かる六郷橋を渡ると東京・蒲田に入る。ここでまた奇妙な駅名に出くわす。「雑色」国道15号線に沿って大森海岸、青物横丁へと進む。青物横丁を右折、天王洲アイルからモノレールの下を走りレインボーブリッジまでは快調に進む。正午に近づき一段と日差しが強くなるが、湿度が低いので比較的走りやすい。



箱根駅伝鶴見中継所:感動の襷わたしを描いた銅像

レインボーブリッジを初めて走る。海風がかなり強い。レインボーブリッジはお台場方面へは長い下り坂となり気持ちよく下ってゆくが、お台場に入ったとたん足が止まった。暑さで疲労がかなり溜まってきた。集団から遅れ気味。お台場では、海辺や砂浜で海水浴客が楽しそうに遊んでいる。お台場を通過し、ビッグサイトのある国際展示場、東雲と湾岸道路に沿って走る。

浦安への一本道に入り、集団から遅れ2~3人ぐらいで走っていたが、やがてバラバラになりひとりで走り始める。1時を過ぎると西に傾きかけた太陽の日差しが一段と背中や首、ふくらはぎを照りつける。荒川を越えると辺りは葛西臨海公園。荒川に掛かる荒川河口橋は川面から随分高く、長い登り坂から中間点で下りとなる。本番当日この登り降りはかなり難所になるだろう。橋のトップからはいい眺めでまた風も心地よい。江戸川にかかる舞浜大橋を越えると千葉県に入り東京ディズニーランドはもう目と鼻の先。2時半舞浜の交差点に到着、これから東京ディズニーランド駐車場入り口を左折する。TDLの駐車場はあるが「駐車場入り口」の標識がない。ここで左折するか、「駐車場入り口」の標識を探してもう少し直進するか迷ったあげく直進したのが大間違い。それから1キロぐらい進んだところで道に迷ったことを確信。ゴールまで1.5キロ地点で道に迷い、来た道をまた1キロ戻る、2キロのロス辛い。一気にペースダウンもコースに戻り、舞浜駅とTDLを分けるまっすぐな道の先に白い大きな「躍動の門」を発見。やっとゴールだ。道路左側には、JR舞浜駅、イクスピアリ、シルクド・ソレイユ・シアター、右側には華やかな東京ディズニーランドが広がっている。道を行き交うTDLの観光客の中をひたすら走る。既にゴールしたランナーから頑張れコール。3時5分、ゴール。道に迷いながら、休憩取りまくりの約6時間の観光走。本番当日6月4日は、朝4時箱根湯本を出発し、夕方7時にここ「躍動の門」にゴールする予定(15時間で100キロ+ロス?キロ)。どうか迷わず無事たどり着けますよう。